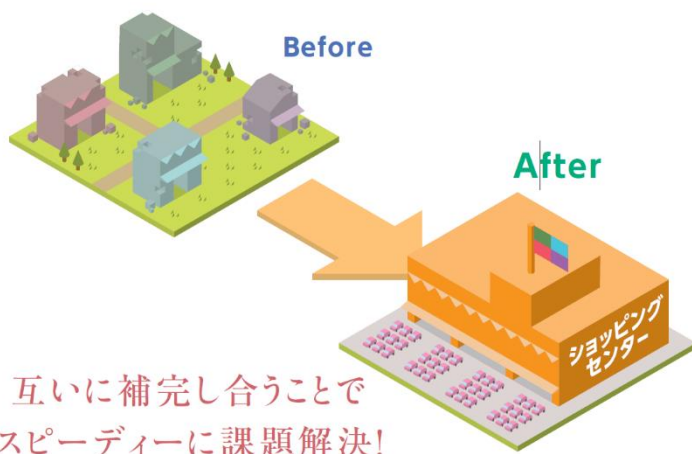


地域のにぎわいの拠点等を創出する事業です



●事業イメージ

個々の企業では解決することが難しい課題を抱えている中小企業者が、組合や会社を設立し、ショッピングセンターや共同工場など、主に一つの建物を整備運営することで経営の合理化につなげる事業です。比較的予算規模の小さな事業にも活用でき、産業振興や地域のにぎわいの創出が期待できます。これまでに約950組合に活用されています。



活用事例

経営を合理化するだけでなく、 地域産業も育成

株式会社アスキー（静岡県浜松市）

自動車部品等のメーカー企業5社が、公害問題への対処や、親会社からのコストダウン・品質向上等の要望に答えるために出資会社を新設した。経営が合理化したのはもちろんのこと、各社の技術を持ち寄ったことで経営基盤が強化。産業振興の面の効果も生まれている。



高度化事業を用いて、 「市民の台所」をリニューアル

協同組合宮古市魚菜市场（岩手県宮古市）

宮古市中心市街地の「宮古市魚菜市场」は、昭和43年、平成7年に高度化事業を利用し、市場を開設。市民の胃袋を満たしてきた。その後、施設の経年劣化や東日本大震災の発生等により、リニューアルの必要性が生じ、中小機構のアドバイスを受け、再度、高度化事業の利用を計画。空調施設の導入や核店舗の誘致、キャッシュレス化など利便性を強化した新たな共同店舗にリニューアルした。市場から地域特産品の販売拠点へと転換した「宮古市魚菜市场」。地域の拠点として、さらなる発展が期待される。

